



Web Caster

FT-STC-Va/g

取扱説明書

このたびは、Web Caster FT-STC-Va/g
をお買い求めいただきまして、まことにあり
がとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく
お読みのうえ、内容を理解してからお使い
ください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなど
いつもお手元に置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますのでご注意ください。また、機能向上のため画面は予告なく変更される場合があります。

Windows® は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system の略です。
Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 professional operating system の略です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP operating system の略です。

Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
付属品の CD-ROM は日本語 OS 以外の動作保証をしていません。
付属品の CD-ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる変更も禁止とし、それに起因する障害については当社は一切の責任を負いません。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際には取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書に他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更する可能性があります。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本商品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
 - (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には「N T T通信機器お取扱相談センタ」にお問い合わせください。
- 本商品を5.2GHz帯で使用する場合、屋外で使用しないでください。法令により5.2GHz無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ5.2GHz帯の電波を無効にしてください。
- 本商品は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDSSS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4 DS-OF 4

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す

DS-OF : 変調方式を示す

4 : 想定される干渉距離が40m以下であること

■■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避することを意味する

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 本商品を使用する場合は、本商品を装着している機器（パソコンなど）のメーカーが示している警告、注意事項をお読みになり、正しい手順でご使用ください。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重症を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 心臓ペースメーカの30cm以内に近づけないでください。ペースメーカの動作に影響を与えることがあります。
- 航空機内や病院など使用を禁止された区域では、装着している機器（パソコンなど）から本商品を取り外してください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。
- 本商品から異臭、異音、煙が発生した場合は、本商品を装着している機器（パソコンなど）の電源をOFFにして機器から取り外してください。火災、感電の原因となることがあります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、破損した場合は、本商品を装着している機器（パソコンなど）の電源をOFFにして機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入ったり、ぬらした場合は、本商品を装着している機器（パソコンなど）の電源をOFFにして機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品を装着している機器（パソコンなど）の電源をOFFにして機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で本商品进行操作しないでください。感電・故障の原因になります。

注意

- 本商品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証はいたしかねます。
- 本商品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。静電気により、故障の原因となることがあります。
- 本商品を以下のような場所で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 直射日光のあたるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱機のそば
 - ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所
 - ・ 振動・衝撃の多い場所
 - ・ 強い磁界やノイズ発生源のそば
 - ・ 湿気やほこりの多い場所、鉄粉や腐食性ガスが発生する場所
- 本商品は、精密機械です。落としたり、重い物を乗せたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

■CD-ROMの取扱上・保管上の注意

1. ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。
2. ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。
3. ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シールなどを貼付しないでください。
4. ひび割れや変形、また接着剤等で補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。
5. 直射日光のあたる場所や、高温・多湿の場所には放置しないでください。
6. ディスクは使用後、元のケースに入れて保管してください。

■CD-ROMの著作権、免責事項について

1. 添付CD-ROMに収録されたソフトウェア、およびデータは、著作権法によって保護されています。それぞれの著作者および著作権は、各プログラムまたは付属のドキュメントに記載されている通りです。
2. 添付CD-ROMは、無償でご利用になれます。また、友人など営利を目的としない間柄での再配布は原則自由です。ただし、その場合でも著作権免責事項の規定は、配布の相手方に対しても効力を有するものとします。
3. 添付CD-ROMの内容を転載、雑誌などに添付して再配布する場合は、東日本電信電話株式会社、または西日本電信電話株式会社（以下、弊社と略します）の許諾を必要とします。
4. 収録されたソフトウェアは、弊社にて動作確認を行っていますが、全ての状況下においての動作を保証しているわけではありません。弊社は、添付CD-ROMに関しては、一切動作保証は致しません。
5. 弊社は、添付CD-ROMによりご利用者に直接または間接的損害が生じても、いかなる責任も負わないものとし、一切の賠償などは行わないものとします。
6. 弊社は、添付CD-ROMに不備があっても、訂正する義務は負わないものとします。
7. 添付CD-ROMの記載事項は、ご利用者への事前連絡なく仕様を変更したり、サービスの提供を中止する場合があります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
目次	7
マニュアル構成／マニュアルの見かた	8
マニュアル構成	8
マニュアルの見かた	8
電子マニュアルの見かた	8
詳細取扱説明書 目次	10
無線LANの設定について	11

1 最初に確認しましょう

セットを確認してください	1-2
動作環境を確認してください	1-3
各部の名前	1-4

2 ドライバをインストールしましょう

ドライバをインストールしましょう	2-2
インストールの状態を確認しましょう	2-6

3 無線LANを接続してみましょう

アクセスポイントと通信しましょう（インフラストラクチャ・モード）	3-2
通信内容を暗号化しましょう	3-7

4 付録

トラブルや疑問点がある場合	4-2
本商品をパソコンから取り外す場合は	4-4
本商品（ソフトウェア）を削除する場合は	4-5
製品仕様	4-9
索引	4-10
保守サービスのご案内	4-11

マニュアル構成／マニュアルの見かた

マニュアル構成

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。
ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書

Web Caster FT-STC-Va/gの基本機能についての説明書です。

詳細取扱説明書

取扱説明書には記載されていないWeb Caster FT-STC-Va/gの、より詳細な機能について解説しています。本書はWeb Caster FT-STC-Va/g専用CD-ROMに収録されています。

マニュアルの見かた

必要に応じて、以下の順番にお読みください。

1. 最初に確認しましょう

同梱されているものの確認、本商品を動作させるのに必要な動作環境等について説明しています。
インストールをはじめる前に、必ずお読みください。



2. ドライバをインストールしましょう

ドライバのインストール等について説明しています。
本書ではOSにWindows® XPを使用した場合を例に説明しています。他のOSをご使用になる場合は、CD-ROMに収録されている詳細取扱説明書を参照してください。



3. 無線LANを接続してみましょう

アクセスポイントとの接続について説明しています。

電子マニュアルの見かた

本商品の、より詳細な機能については、CD-ROMに収録されている電子マニュアルをご覧ください。

- 1 パソコンを起動し、付属のCD-ROM「Web Caster FT-STC-Va/g専用CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 自動的に表示されるメニュー画面の「詳細取扱説明書」をクリックします。

お知らせ

- CD-ROMをドライブにセットしてもメニュー画面が表示されない場合は[スタート]-[マイコンピュータ]をクリック (Windows® 2000/Me/98SEの場合は、デスクトップにある[マイコンピュータ]をダブルクリック) して、[FT-STC-Va_g]アイコンをダブルクリックしてください。CD-ROMの内容が表示されますので「FT-STC-Va_g.exe」をダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。
 - Acrobat Readerをインストールされていない方、本書の内容が正常に表示できない方はメニュー画面の「Acrobatのインストール」をクリックしてAcrobat Reader5.05をインストールしてください。
 - メニュー画面の「Acrobatのインストール」または「ドライバとユーティリティのインストール」をクリックすると、図1、2のような確認メッセージが表示される場合がありますが、[開く] または [保存] をクリックしてインストールを継続してください。
 - 「ドライバとユーティリティのインストール」をクリックすると図3のような確認メッセージが表示される場合がありますが、[はい] をクリックしてインストールを継続します。
- ※パソコンの設定によって下記と異なる確認メッセージを表示する場合があります。

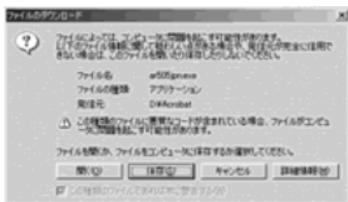


図1

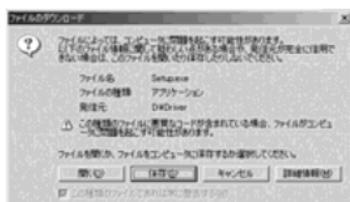


図2



図3

※OSによって画面表示が異なる場合があります。

マニュアル構成／マニュアルの見かた

詳細取扱説明書 目次

詳細取扱説明書の構成は下記のとおりです。

1 ドライバをインストールしましょう

ドライバ・ユーティリティをインストールしましょう

Windows® XPの場合

Windows® 2000の場合

Windows® Me/98SEの場合

2 無線LANを接続してみましょう

アクセスポイントと通信しましょう（インフラストラクチャ・モード）

通信内容を暗号化しましょう

①WEPを使用する場合

②WPAを使用する場合

他の無線LANカードと通信しましょう

（アドホック・モード）

ユーティリティソフトを使用しましょう

3 付録

トラブルや疑問点がある場合

用語解説

索引

無線LANの設定について

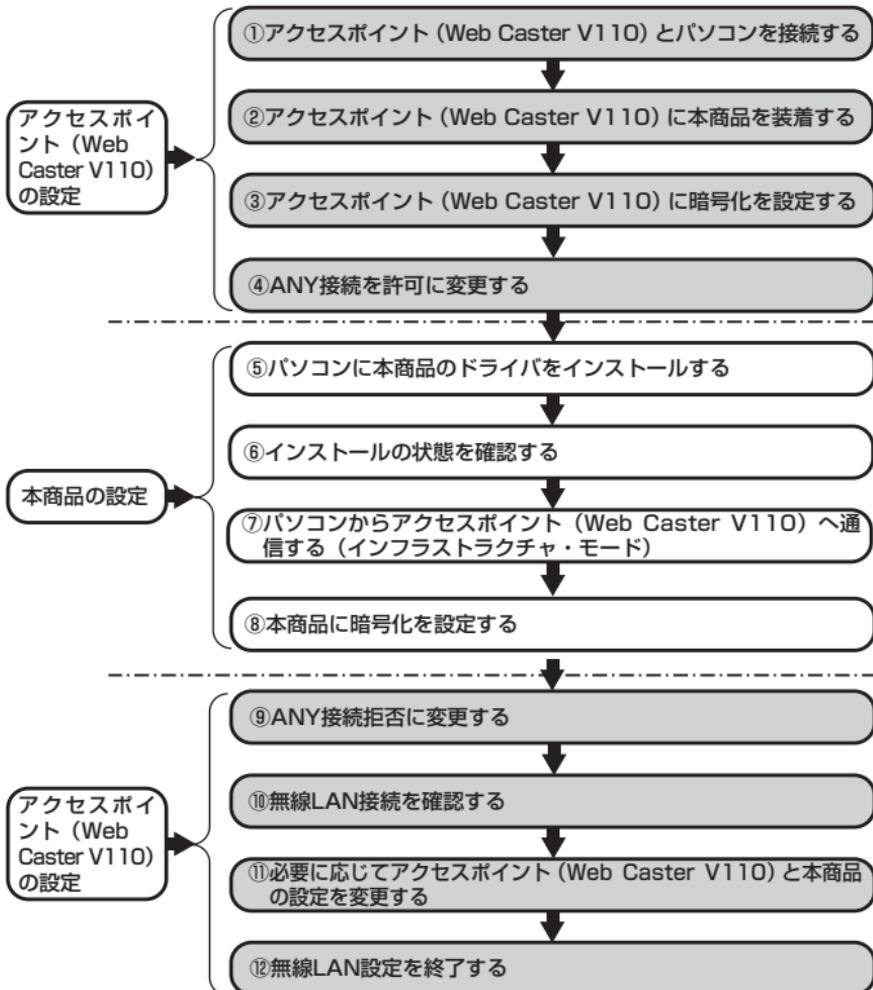
このページでは、無線LANを利用するまでの手順を示します。

本書では本商品をパソコンに装着して無線LANのクライアントとして利用する場合の設定について説明しています。アクセスポイントの設定となっている部分の設定についてはWeb Caster V110の取扱説明書を参照してください。

※本書ではアクセスポイントにWeb Caster V110を使用した場合を例に説明します。他の機種をご使用になる場合も同様の手順で設定を行うことができます。

※本書ではパソコンのOSにWindows® XPを使用した場合で説明しています。他のOSをご使用になる場合は「Web Caster FT-STC-Va/g詳細取扱説明書」を参照してください。

※以下に示した手順の流れは、パソコンと本商品をLANケーブルで接続して本商品と無線LANアクセスポイントを簡単に設定するための方法になります。



1 最初に確認しましょう

- セットを確認してください ……1-2
- 動作環境を確認してください ……1-3
- 各部の名前 ……1-4

セットを確認してください

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、不足品があったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

● 構成品

- ① Web Caster FT-STC-Va/g本体 (1枚)



- ② 取扱説明書 (1冊)



- ③ Web Caster FT-STC-Va/g専用CD-ROM (1枚) (詳細取扱説明書、ドライバ・ユーティリティソフト含む)



- ④ Web Caster FT-STC-Va/g保証書 (1枚)
⑤ 無線注意ラベル (1枚)
⑥ NTT通信機器お取扱相談センタシール (1枚)
⑦ 無線LAN機能を使用する場合 (1枚)

● **動作環境**

PCカードスロット (PCMCIA TYPE II) を搭載し、CD-ROMドライブ (インストール用) を搭載したパソコン

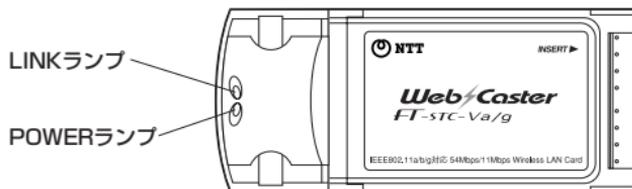
● **Web Caster FT-STC-Va/gカードが対応しているOS**

Windows® 98SE (日本語版)

Windows® Me (日本語版)

Windows® 2000 (日本語版)

Windows® XP (日本語版)



【ランプ表示】

POWERランプ	LINKランプ	本商品の状態
遅い点滅	消灯	省電力モードです。
点滅 ※1	点滅 ※1	ワイヤレスネットワークを検索中です。
遅い点滅	遅い点滅	ワイヤレスネットワークに接続中です。
早い点滅	早い点滅	データの送受信中です。
消灯	消灯	カードに電源が入っていません。

※1 POWERランプとLINKランプが交互に点滅します。

2 ドライバをインストールしましょう

ドライバをインストールしましょう ..2-2
インストールの状態を 確認しましょう2-6

ドライバをインストールしましょう

本商品を使用する場合には、はじめに本商品を装着するパソコンにドライバとユーティリティをインストールする必要があります。本章の手順を行うことにより、ドライバとユーティリティのインストールが行われます。

以下、ドライバとユーティリティのインストールを「ドライバのインストール」と略します。

本書ではOSにWindows® XPを使用した場合を例に説明しています。他のOSをご使用になる場合は、CD-ROMに収録されている詳細取扱説明書を参照してください。

●インストールする際には以下の点にご注意ください。

- ・CD-ROMをドライブにセットしてもメニュー画面が表示されない場合は [スタート] - [マイコンピュータ] をクリックして、[FT-STC-Va_g] アイコンをダブルクリックしてください。CD-ROMの内容が表示されますので [FT-STC-Va_g.exe] をダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。
- ・インストールを行う前に、全てのアプリケーションを終了させてください。
- ・本商品はスタンバイモードには対応していません。
本商品をインストールする前に、ご使用のパソコンの取扱説明書等をお読みになり、スタンバイモードを解除しておいてください。

1 パソコンの電源を投入し、Windows® XPを起動します。その際、必ず Administrator権限のあるユーザでログインしてください。

● お知らせ

- この時点では、本商品（カード本体）をPCカードスロットに挿入しないでください。パソコンの電源をONにする前、もしくはOSが起動した時点で本商品を挿入した場合、ドライバのインストールに失敗する恐れがあります。

2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットすると、次のメニュー画面が自動的に起動します。

起動しましたら、[ドライバとユーティリティのインストール] をクリックします。

ダウンロード確認画面が表示されますが、[開く] をクリックしてください。



● お知らせ

- セキュリティソフト（ウイルスチェックプログラム等）が起動している状態でインストールを行うと正常にインストールが完了しない場合があります。インストール作業はウイルスチェックプログラムを一時的に終了してから行ってください。

- 3 インストール確認画面が開きます。【次へ】をクリックします。



- 4 「使用許諾契約書」画面が開きます。
内容を確認の上、よろしければ【同意する】をクリックします。

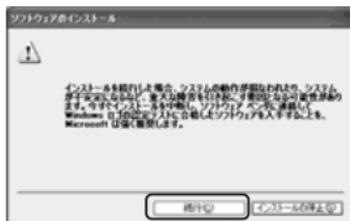


- 5 「インストール先の選択」画面が開きます。
ドライバのインストール先を変更される場合は【参照...】をクリックして、
インストール先を指定します。変更の必要がなければ、【次へ】をクリック
します。



(次ページに続く)

- 6 以下のような確認メッセージが出ます。
[続行] をクリックしてインストールを続けます。



- 7 インストールが完了すると「セットアップの完了」画面が表示されます。
[完了] をクリックしてください。



- 8 本商品（カード本体）のラベル面を上にして、PCカードスロットの奥まで挿入します。

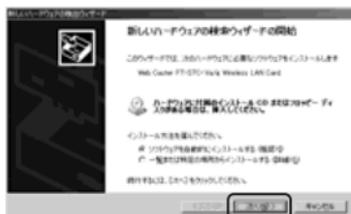
 **お知らせ**

- PCカードスロットの位置・使用方法については、お使いのパソコンにより異なります。わからない場合にはパソコンの取扱説明書等をご覧ください。

9 下記のウィンドウが表示されます。



10 また、左下のような「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されますので、そのまま [次へ] をクリックしてください。カードが正しく認識されると、右下のような確認メッセージが出ます。[続行] をクリックの後、インストールが完了します。



お知らせ

- ご使用のパソコンにWindows® XP ServicePack2をインストールしている場合、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面は以下のイメージで表示されます。[いいえ、今回は接続しません] を選択した後、「次へ」をクリックしてください。手順10の右側の画面が表示されます。



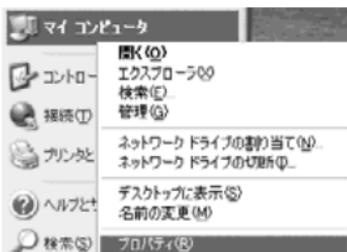
以上でインストール作業は完了しました。
引き続き、次ページの「インストールの状態を確認しましょう」にお進みください。

インストールの状態を確認しましょう

ドライバソフトのインストールが確実に行われていて、正常に使用できることを確認する方法を示します。

以下の画面例は、Windows® XPの場合について説明しています。

- 1** [スタート] ボタンをクリックし、[マイコンピュータ] 上で右クリックして [プロパティ] を選択します。



お知らせ

- Windows® XP以外のOSをお使いの場合は、[マイコンピュータ] のアイコンはデスクトップ上にあります。

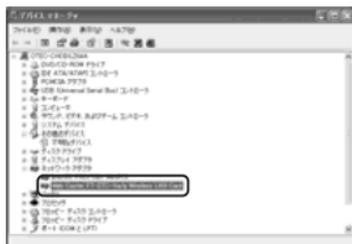
- 2** 「システムのプロパティ」の画面上の [ハードウェア] タブをクリックします。



3 デバイスマネージャの項の「デバイスマネージャ」をクリックします。



4 「デバイスマネージャ」の「ネットワーク アダプタ」をダブルクリックし、「Web Caster FT-STC-Va/g Wireless LAN Card」があることを確認します。



お知らせ

- もし「Web Caster FT-STC-Va/g Wireless LAN Card」のアイコンの前に「！」マークがついている場合は、何らかの問題が発生しています。その際には、パソコンの再起動をしたり、ドライバの再インストールを行ってください。

3 無線LANを接続してみましよう

アクセスポイントと通信しましょう
(インフラストラクチャ・モード) …3-2
通信内容を暗号化しましょう ……3-7

アクセスポイントと通信しましょう (インフラストラクチャ・モード)

本商品と無線LANアクセスポイントとが通信する場合の設定方法について記載します。
(アクセスポイントにはWeb Caster V110を例として記載します。)

インフラストラクチャ・モードとは、本商品を搭載したパソコンからアクセスポイントを介し、無線LAN上で通信を行う場合に設定するモードです。

1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

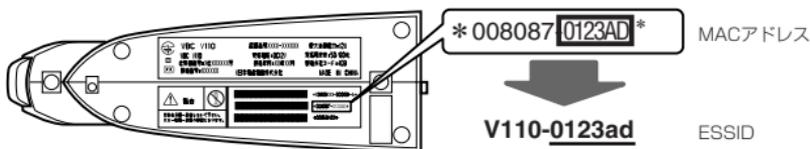
2 アクセスポイントのESSID (ネットワーク名) を確認します。

アクセスポイントの取扱説明書を確認して、ESSID (ネットワーク名) を記録しておいてください。

●MACアドレスの確認方法 (アクセスポイントにWeb Caster V110を使用した場合)

※アクセスポイントのESSIDについては、工場出荷時に「V110-【MACアドレスの下6桁 (英数小文字)】」で設定されています。

本体底面にシールが2箇所貼り付けてあり、バーコードがあるシールにMACアドレスが記載してあります。中央のバーコードの右に書いてあるものがMACアドレスになります。



[アクセスポイントの底面]

シールの表示が上記の場合は、アクセスポイントのESSIDは「V110-0123ad」となります。
※ESSIDの「V110-」のアルファベットは大文字、「0123ad」のアルファベットは小文字となりますのでご注意ください。

お知らせ

- ESSIDとは、本商品と無線LANアクセスポイントとが通信時に使用するネットワーク識別用のIDです。無線LANアクセスポイントにESSIDを設定しておき、その無線LANアクセスポイントと接続するパソコン等にも同じESSIDを設定しておけば、通信が可能になります。このように、接続する無線LANアクセスポイントをESSIDで指定することができます。ESSIDは、セキュリティ機能の一つに分類される場合がありますが、あくまでも接続先の識別機能ですので、ESSIDを設定後に、他のセキュリティ設定をすることをお勧めします。

この時点で、ドライバのインストールが完了し、本商品（カード本体）がPCカードスロットに挿入されているものとします。

本商品（カード本体）のPOWERランプが点滅していることを確認してください。

3 タスクトレイのユーティリティアイコン をダブルクリックします。

アイコンが表示されていない場合は以下の操作で表示することができます。

- ・Windows® XPをご使用の場合は、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



- ・Windows® 2000/Me/98SEをご使用の場合は、[スタート]ボタン→[プログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



4 ユーティリティの画面が開きます。



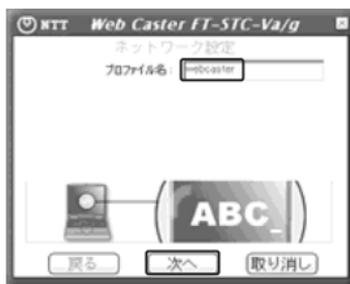
(次ページに続く)

アクセスポイントと通信しましょう (インフラストラクチャ・モード)

- 5 上部の「設定」タブをクリックします。工場出荷時は何も入っていないので、「追加」をクリックしてネットワーク設定を行います。



- 6 ネットワーク設定を行います。プロフィール名は任意の英数字を入力してください。入力が完了したら「次へ」をクリックしてください。



- 7 事前に調べておいたアクセスポイントのネットワーク名 (ESSID) をSSIDの欄に入力します。入力が完了したら「次へ」をクリックしてください。



8

【次へ】をクリックしてください。

アクセスポイントが暗号化されている場合は、後述の「通信内容を暗号化しましょう」に従って認証モードを変更してください。



9

【完了】をクリックしてください。



お知らせ

- 本ユーティリティを使用してIPアドレスを設定する場合はIPアドレス設定メニューから[設定する]を選択した後、[次へ]ボタンをクリックしてIPアドレス入力画面で設定を変更してください。

アクセスポイントと通信しましょう (インフラストラクチャ・モード)

10 設定した内容が反映されることを確認してください。リストから追加したネットワーク設定を選択した状態で、[接続]をクリックしてください。

通信をしているネットワーク名の前には  印が付きます。



11 手順10で表示されている画面上部の「設定選択」タブをクリックし、「詳細…」をクリックします。詳細情報が表示されますので「無線LAN情報」の信号強度と通信品質が表示されていることを確認した後、ウィンドウを閉じます。



以上で、アクセスポイントとの無線LAN接続関連の設定は終了です。

通信内容の暗号化設定を行う場合は、引き続き「通信内容を暗号化しましょう」をお読みください。

お知らせ

- タスクトレイに格納されているアイコンを確認することでも通信状態を確認することができます。



: 無線LANネットワークに接続中



: 無線LANネットワークを検索中

通信内容を暗号化しましょう

本商品は無線を利用しているために、ケーブルの配線工事が不要というメリットがあります。しかし通信内容の暗号化をしていない場合には、電波の届く範囲であれば通信内容を傍受される危険性が考えられます。

そのため、本商品をお使いになる際には必ずアクセスポイントと本商品の暗号化(WEP/WPA)の設定を行ってください。なお、本商品でサポートしているWPAの暗号化プロトコルはTKIPのみとなります。

アクセスポイントの設定に関しては、アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

●WEP

無線LAN規格 (IEEE802.11) にて規格化されている「暗号化」方式の一つです。直訳は、「有線LANと同等のプライバシー機能」となり、無線LANに対するセキュリティの有効な手段とされています。

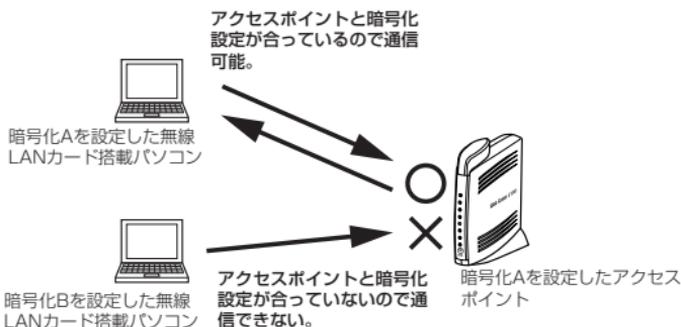
WEPを設定することで、無線電波が第三者に傍受されても、暗号を解読しないとデータの中身を判読することができなくなり、また無線LANに侵入することもできません。WEP機能は、パソコン等および無線LANアクセスポイント側の両方に「WEPキー (WEP暗号化鍵)」を設定する必要があります。市販の無線LAN製品は、64ビットおよび128ビット長のWEPキーをサポートしています。各ビット長のうち、ユーザが設定できるWEPキー長は、それぞれ「40 bit (5 byte)」、「104 bit (13 byte)」となります。残りの24ビットはIV (Initialization Vector) といわれる自動的にパソコンや無線LANアクセスポイントにより付加されるデータとなります。設定されるWEPキーの長さが長いほど、暗号は強力なものとなります。

●WPA

WPA(Wi-Fi Protected Access)とは、WEPの脆弱性を改善した暗号化方式です。

ユーザ認証機能の追加や、暗号キーを一定時間毎に自動的に更新するTKIP(Temporal Key Integrity Protocol)と呼ばれる暗号化プロトコルを採用することによりセキュリティ強度が向上されています。

WPAには認証サーバを使用せず、事前共有キー (Pre-shared Key) と呼ばれる共有キーを使用して認証を行う「WPA-PSK」という方式があります。



●お知らせ

- ご使用のパソコンのOSがWindows® XPの場合に暗号化方式でWPAを使用するにはWindows® XP ServicePack 1以上とWPAサポート修正プログラムをあらかじめインストールしておく必要があります。本書は上記ServicePackおよび修正プログラムがご使用のパソコンにインストールされていることを前提に記述しています。
- WPAサポート修正プログラムについてはマイクロソフト社のサポート技術情報 826942「Windows XP の WPA ワイヤレス セキュリティ アップデートの概要」を参照してください。マイクロソフト社のホームページ (<http://www.microsoft.com/japan/>) で、「サイトの検索」欄に 826942 と入力し、[検索]をクリックすることで参照できます。

通信内容を暗号化しましょう

ここではアクセスポイントに暗号化方式WPA-PSK、入力方式TKIP、ネットワークキー「pre-shared-key-012345678」を設定したときの設定例を示します。(暗号化方式および入力方式で上記以外の項目を選択する場合には、詳細取扱説明書を参照してください。)

この時点で、ドライバのインストールが完了し、カードがPCカードスロットに挿入されているものとします。

カードのPOWERランプが点滅していることを確認してください。

1

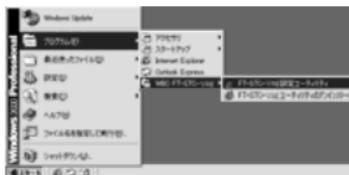
タスクトレイのユーティリティアイコン  をダブルクリックします。

アイコンが表示されていない場合は以下の操作で表示することができます。

- ・ Windows[®] XPをご使用の場合は、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



- ・ Windows[®] 2000/Me/98SEをご使用の場合は、[スタート]ボタン→[プログラム]→[WBC FT-STC-Vag]→[FT-STC-Vag設定ユーティリティ]をクリックしてください。



2

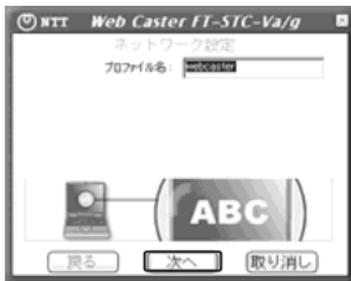
ユーティリティの画面が開きます。



- 3** 上部の[設定]タブをクリックします。利用するネットワーク設定を選択し、[変更]をクリックします。

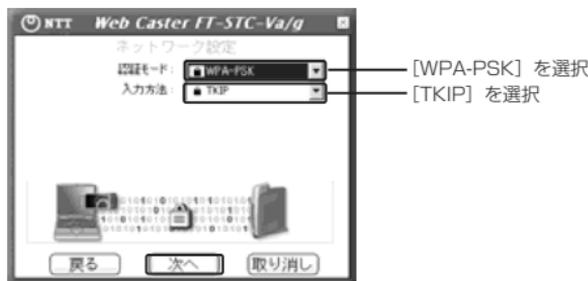


- 4** [プロフィール名] の設定画面が表示されますので [次へ] をクリックして [認証モード] の設定画面まで進みます。

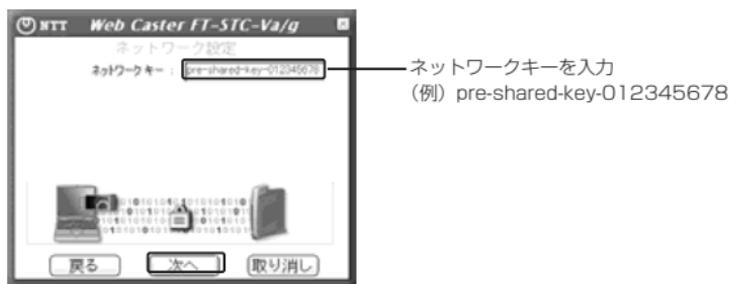


通信内容を暗号化しましょう

- 5 [認証モード]のメニューから[WPA-PSK]を選択し、[入力方法]メニューから[TKIP]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 6 アクセスポイントで設定したネットワークキー（事前共有キー）を入力してください。
入力が完了したら [次へ] をクリックしてください。



- 7 IPアドレス設定の画面が表示されますので [完了] をクリックしてください。
以上で、暗号化の設定は終了です。

4 付録

トラブルや疑問点がある場合	4-2
本商品をパソコンから取り外す場合は	4-4
本商品（ソフトウェア）を削除する場合は	4-5
製品仕様	4-9
索引	4-10
保守サービスのご案内	4-11

トラブルや疑問点がある場合

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、こちらをお読みください。
 該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品をパソコンから取り出してソフトウェアのアンインストールを行い、再度インストールされることをお勧めします。手順については「本商品をパソコンから取り外す場合は」および「本商品（ソフトウェア）を削除する場合は」を参照してください。
 その際、再インストールを行うと、プロファイルのデータ等が消去されますのでご注意ください。

症 状	原因と対策
ドライバがインストールできない	<p>ご使用のパソコンで本商品ではサポートしていないOSを使用している可能性があります。</p> <p>●ご使用になるパソコンのOSが本商品でサポートしているものであることを確認してください。本商品でサポートしているOSに関しては、本書の「1 最初に確認しましょう 動作環境を確認してください」を参照してください。</p>
	<p>全てのソフトウェアを終了していない可能性があります。</p> <p>●本商品のドライバをインストールする時には、あらかじめ起動しているソフトウェアを全て終了する必要があります。セキュリティソフト（ウイルスチェックプログラム等）についても忘れずに終了してからインストールを実施してください。</p>
	<p>本商品以外の無線LANドライバがインストールされている場合は正常にインストールが完了しない可能性があります。</p> <p>●インストール済みの無線LANドライバをアンインストールした後、再度インストールを試みてください。</p>
	<p>パソコンの電源をONにする前、もしくはOSが起動した時点で本商品を挿入した場合は正常にインストールが完了しない可能性があります。</p> <p>●インストール済みの無線LANドライバをアンインストールした後、再度インストールを試みてください。</p>

症 状	原因と対策	原因と対策
インターネットが できない	無線通信ができる	<p>アクセスポイントに問題がある可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクセスポイントに設定されている設定情報を確認してください。WAN側の設定に誤りがあるか、設定を行っていないことが考えられます。設定情報の詳細に関してはアクセスポイントのマニュアルを参照してください。
	無線通信ができない (POWERランプと LINKランプが交互 に点滅している)	<p>アクセスポイントの電源が入っていない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。
		<p>アクセスポイントに本商品（カード本体）が正常に挿入されていない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクセスポイントのPCカードスロットの奥まで正しく本商品（カード本体）が挿入されていることを確認してください。
		<p>設置場所に問題がある可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電波の届く範囲にアクセスポイントがあることを確認してください。 ●本商品の設置場所を変えてみてください。
		<p>アクセスポイントの情報が本商品に設定されていないか、または設定が誤っている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ユーティリティにて本商品に設定しているアクセスポイントの設定情報（ESSIDや暗号化設定など）を確認してください。設定情報に関しては詳細取扱説明書「無線LANを接続してみよう」を参照してください。
		<p>他の通信機器と電波干渉が発生している可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通信に使用しているチャンネルを変更してみてください。設定情報に関しては詳細取扱説明書「無線LANを接続してみよう」を参照してください。
	<p>アクセスポイントが故障している可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクセスポイントが正常に動作していることを確認してください。 	
無線通信ができない (POWERランプと LINKランプが共に 消灯している)		<p>本商品（カード本体）に電源が入っていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PCカードスロットの奥まで正しく挿入してください。 ●PCカードスロットが複数ある場合には、他方に差し替えてみてください。PCカードスロットの動作が不安定な可能性もあります。

※上記の対応で問題が解決しない場合はドライバをアンインストールした後、再度インストールを実施してください。

本商品をパソコンから取り外す場合は

本商品は、パソコンの電源がOFFの際にはいつでもPCカードスロットから取り外すことができます。

また、パソコンの電源がONの状態でご使用中の状態においても、下記の作業を行うことによりPCカードスロットから取り外すことができます。

⚠ 注意

本商品を取り外す際には、アクセス状態でないことを確認した後に、以下の説明に従って取り外してください。

以下の画面例は、Windows® XPの場合について説明しています。

- 1 画面右下のタスクトレイのPCカードスロットのアイコン  をクリックします。

OSによっては、アイコンの形が異なりますので、注意してください。

- 2 接続されている機器リストの中から、本商品をクリックします。



- 3 下記のようなコメントが出ることを確認してください。



- 4 PCカードスロットから本商品を取り出します。



お知らせ

- 再度ご使用になる場合は、そのまま挿入すると自動的にカードを再認識します。

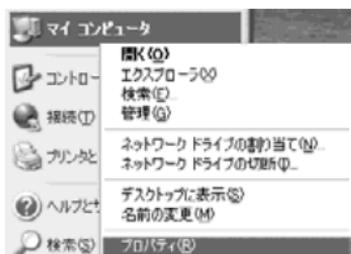
本商品（ソフトウェア）を 削除する場合は

本商品をご使用になるためにインストールされた、各ソフトウェアをアンインストール（削除）する方法についてご説明します。インストールされたソフトウェアには、「ドライバソフト」と「ユーティリティソフト」の2種類があります。

●ドライバソフトの削除

以下の画面例は、Windows® XPの場合について説明しています。

- 1** [スタート] ボタンをクリックし、[マイコンピュータ] 上で右クリックして [プロパティ] を選択します。



お知らせ

- Windows® XP以外のOSをお使いの場合は、[マイコンピュータ] のアイコンはデスクトップ上にあります。

- 2** 「システムのプロパティ」の画面上の [ハードウェア] タブをクリックします。



(次ページに続く)

- 5 「Web Caster FT-STC-Va/g Wireless LAN Card」をクリックして選択し、右クリックで「削除」を選択します。



- 6 削除の確認のウィンドウが開きますので、[OK]をクリックすると削除が開始されます。



本商品（ソフトウェア）を 削除する場合は

●ユーティリティソフトの削除

以下の画面例は、Windows® XPの場合について説明しています。

- 1** 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「WBC FT-STC-Vag」のメニューから、「FT-STC-Vagユーティリティのアンインストール」をクリックします。



- 2** 以下のようなウィザードのウィンドウが開きますので、「削除」を選択して「次へ」をクリックします。



- 3** ユーティリティソフトの削除が終了すると「セットアップの完了」のウィンドウが開きますので、ドライブから本商品を取り出してから、「完了」をクリックしてください。ご使用のパソコンの状態によっては、再起動の必要があります。

以上でユーティリティソフトの削除は完了です。



製品仕様

項目	仕様
商品型番	Web Caster FT-STC-V 「ag」
準拠規格	IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66、ARIB STD-T71
周波数帯／チャンネル	5.2GHz(5.15～5.25GHz) / 34、38、42、46ch 2.4GHz(2.400～2.4835GHz) / 1～13ch
伝送方式	IEEE802.11a : OFDM方式、IEEE802.11g : OFDM方式 IEEE802.11b : DSSS方式
伝送速度 ※1	IEEE802.11a / IEEE802.11g : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps IEEE802.11b : 11/5.5/2/1Mbps
伝送距離 (見通し距離)	屋外:約200m (802.11aは、屋外で使用できません) 屋内:約100m (環境により異なります)
アクセス方式	アドホック／インフラストラクチャ
アンテナ方式	ダイバーシティアンテナ (内蔵)
セキュリティ方式	SSID、WEP (64/128bit) ※2、TKIP
状態表示	POWERランプ、LINKランプ
PCインターフェース	PC Card Standard (CardBus) ・ Type II
対応OS	Windows® 98SE／Windows® Me／Windows® 2000／ Windows® XP (日本語版)
使用電源	DC3.3V±5% (パソコンから供給) DC5V仕様のPCカードスロットではお使いになれません。
消費電力	最大2W
動作環境	温度：0～40℃、湿度5～85% (ただし結露しないこと)
外形寸法	約54(w)mm×14(H)mm×120(D)mm
質量	約0.04kg
適合認定	特定無線設備技術基準適合認定 端末機器技術基準適合認定
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)	クラスB情報技術装置

※1 規格による速度を示すものであり実効速度は異なります。

※2 同一無線ネットワークにおいて64bitWEPと128bitWEPの混在はできません。

アルファベット

CD-ROM	1-2
ESSID	3-2
IEEE802.11a	4-9
IEEE802.11b	4-9
IEEE802.11g	4-9
LINKランプ	1-4
POWERランプ	1-4
Windows® 2000	1-3
Windows® 98SE	1-3
Windows® Me	1-3
Windows® XP	1-3

五十音**【ア行】**

アクセスポイント	3-2,4-3
アドホック	4-9
暗号化	3-6,4-3
インストール	2-2
インフラストラクチャ	3-2,4-9

【サ行】

周波数	4-9
仕様	4-9
詳細取扱説明書	8,10,1-2

【タ行】

チャンネル	4-9
伝送速度	4-9
伝送方式	4-9
ドライバ	2-2

【ヤ行】

ユーティリティ	1-2
---------	-----

【ラ行】

ランプ表示	1-4
-------	-----

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

MEMO

MEMO

注 意

本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。
本商品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方でご不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●パソコンの接続・設定等に関するお問い合わせ

☎0120-275466（24時間 年中無休）

●故障に関するお問い合わせ

☎0120-242751（24時間 年中無休*）

※故障修理等の対応時間は平日9：00～17：00、
土・日・祝日および年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●本端末機器の取り扱いに関するお問い合わせ

☎0120-710444

（受付時間 平日9：00～17：00）

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●故障に関するお問い合わせ

☎0120-248995（24時間 年中無休）

●本端末機器の取り扱いに関するお問い合わせ

☎0120-109217

（受付時間 平日9：00～17：00）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2004 NTEAST・NTTWEST

本2603-2 (2004.10)

WBC FT-STC-Vトリセツ <AG>

Rev.1.1